

社会福祉法人 清和福社会

認定こども園 大野山保育園70周年記念誌 2021

ぬくもり



Oonosan Hoikuen
70th anniversary



社会福祉法人 清和福社会 認定こども園

大野山保育園

“児童は家の宝なり”



創業者 沢村 清一

創業者故沢村清一が生涯保育理念として掲げ、現在に至っても社会福祉法人の保育園として、子育てに関するすべてのネットワークの拠点を目指しています。子ども達の20年後を想像しながら、保護者・家庭・地域と連携し、子どもの成長を大切に見守り安心した環境を提供しています。



園旗

社会福祉法人 清和福祉会
認定こども園 大野山保育園

創立70周年記念誌 めくもり

目次

I. 70周年によせて

- ご協力をいただいている皆様方からの寄稿文 ● 1～14
- 会長・理事長あいさつ ● 15
- 園長あいさつ ● 16

II. 写真で見る70年の歩み

- 各年代の時代背景とおもなできごと ● 18～31
- 寄付芳名者のご紹介 ● 32

III. 70年の歴史と今

- 沿革と取り組みの歩み ● 34～35
- 統合前の歴代職員名簿 ● 36～37
- 合併後保護者会役員のご紹介と卒園写真 ● 38～42
- 令和3年度保護者会役員のご紹介 ● 42
- 広報誌・新聞等で紹介された園の活動 ● 43～49
- 大野山保育園の保育方針を活かした学びから ● 50～55
- 職員・保育園受賞歴 ● 56～57
- 冊子で紹介されました ● 57
- 令和2年度 職員からのメッセージ ● 58～62
- 令和3年度 職員名簿 ● 63
- ボランティアメンバーのご紹介 ● 63
- 園歌・保育理念・保育目標・保育方針 ● 64
- あとがき ● 65



認定こども園 大野山保育園

創立 70 周年を祝して

身延町長 望月 幹也

社会福祉法人「清和福祉会 認定こども園大野山保育園」が創立70周年を迎えられたことを祝し、心からお慶び申し上げます。

昭和26年、「人とのかわり「和」を大切に」という信念と、「児童は家の宝なり」という理念のもとに大野山保育園として歩み始め、家族を、地域をそして命を大切に作る人づくりの志を脈々と引き継がれてまいりました。

また、安全安心の地域づくりのためにご貢献いただきましたこと、衷心より敬意を表し感謝を申し上げます。

これもひとえに歴代園長様をはじめ、職員、保護者並びに地域の皆様方の保育に対する並々なぬご熱意、ご丹精の賜物であります。

町民の皆さんと、大野山保育園の幼児教育にかける思いが、この70周年という輝かしい記念日を迎えられたものと、あらためて深く敬意を表しお祝い申し上げます。

今日の社会情勢は、急激な少子化に伴い子育てを取り巻く環境も急速に変化しております。

今後更に多様化する保育ニーズに応えるためには、官・民保育施設との連携を図りながら保育サービス体制の充実を図るとともに、子育て支援対策を社会全体で取り組んで行くことが喫緊の課題であります。

このため本町では、仕事と子育ての両立を図るべく子育て世代への支援や学校教育において、多様な施策により助成等を充実させ、子育ての環境づくりに積極的に取り組んでいるところであります。

保育に対するニーズが多様化する中、70周年を機にますますのご精進をご期待申し上げます。子供たちが仲間づくりを進めながら健やかに育つことを願いながら、大野山保育園の一層のご発展をご祈念いたしまして記念誌発行のお祝いのことばいたします。



新たに始まる歴史に期待

身延町議会議長 柿島 良行

清和福祉会認定こども園大野山保育園の創立70周年の節目に記念誌が発行されますことを、心からお喜び申し上げます。

「一人ひとりの子どもを大切に生きる力を育てる」を保育理念として掲げられ、温かく見守りながら、自然の中で季節の遊びや豊かな感性を育み、人間形成の基礎を培う取り組みに、心から敬意を表すとともに感謝を申し上げる次第であります。

近年は「やまなし自然保育活動」として、裏山自然保育活動が事例紹介され、令和元年度山梨県自然保育活動知事表彰を受賞されました。この活動は園児同士の交流や体のすべてで自然を感じる様子が想像でき、時には秘密基地を作ったり、どんぐりや葉っぱを集めたり、草や花を摘んだり「自然から学ぶことの大切さ」を大人にも気づかせてくれるものです。裏山を活用した自然保育は山の活動で得られる柔軟な四肢の動きを重視し、身体の成長、体力の向上を目指して、園児たちの想像力や探求心、考える力、伝える力を育んでおられます。

未来を担う子どもたちが、身延町の豊かな自然や地域資源を活用した体験の機会を通じ自らを大切に思う気持ちや他者を思いやる心を養い、そして郷土愛を育みながら健やかに成長していけるよう、多くの子どもたちが、心にたくさんの思い出を刻んで、新たに始まる歴史を皆様とともに歩み、築かれていくことをご期待申し上げます。

結びに、長年にわたる関係各位のご尽力に重ねてお礼申し上げますとともに、創立70周年にあたり、清和福祉会認定こども園大野山保育園の更なるご発展と関係各位のご健勝をご祈念申し上げます。



創立70周年おめでとうございます

身延町子育て支援課課長 大村 隆

大野山保育園が、創立70周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げますとともに、歴代の園長先生をはじめ、これまで大野山保育園の乳幼児保育に関わってこられた職員の皆様のご努力に、心から敬意を表したいと存じます。

近年のライフスタイルの変化に伴い、保育園に求められるニーズも大きく変化してきております。このような中、大野山保育園では令和2年4月1日から認定こども園としての認可を受けられ、本町では唯一の幼稚園としての機能を有することとなり、保育のみならず、幼児教育にもより一層力を注がれることとなりました。

子育て支援課といたしましても、「身延町子ども・子育て支援事業計画」を基に、子どもたちの健やかな成長と、子育て世代への支援のため、各種の施策に取り組んでまいります。

大野山保育園に置かれましては、さらなる幼児教育・保育にご尽力いただきますとともに、関係の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。



認定こども園大野山保育園 創立70周年に寄せて

評議員 志村 史哉

創立70周年おめでとうございます。

山間部が多く、過疎化の進む峡南地方の保育園として、身延町と市川三郷町で多少取り巻く状況は違いますが、互いに切磋琢磨して地域の保育をもり立ててきました。

特に前園長の沢村和子先生には長きにわたり、峡南園長会や山梨県保育協議会、日保協などの多くの活動を通して、勉強になる事が多くありました。特に感心したのは、地域に密着して多くのボランティアの協力で裏山の登山道を整備し、山全体を一つの大きな遊び場として子ども達に自然体験の場所を提供したことです。私も「感謝祭」に招かれ、裏山に登った時は子どもの気持ちになり楽しさを実感しました。

今年度は認定こども園に変わり、スムーズな園長交代も実現し重ねておめでとうございます。少子化による園児数減少やいろいろな面で変化していく保育制度に対応しつつ、共に頑張っていきましょう。



創立70周年おめでとうございます

評議員 田中 さとみ

認定こども園大野山保育園創立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

理事長沢村和子先生は、子どものために一途に取り組まれている方で、その熱意に感銘を受け、評議員を務めさせていただくことを大変うれしく思っております。

沢村先生の一途な思いが職員や地域の方々を動かし、豊かな人的環境を整え、食育活動、クラブ活動、裏山活動などの素晴らしい保育に繋がっているのだと感じました。また、現在の姿があるのは70年という歴史の中で、これまで関わってくださった先生方や保護者の皆様のご尽力の賜物だと思います。この子どもへの一途な思いを未来へと繋げていくのがこれからを担う者の使命だと考えています。

これからを担う高山園長先生のお力に少しでもなれるよう、力を尽くす所存です。

今後も大野山保育園のますますのご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



大野山保育園の食から広がる豊かな心

評議員 守屋 喜久代

かつて私の上司と大野山保育園初代の園長先生と保育について熟慮されました。その後私も前理事長先生や園長先生とご一緒させて頂き、多くの事を学ばせて頂いています。

食は、私達の体の源だけでなく、心を豊かにしてくれます。成長期の子どもさんには、一番大切だと思います。大野山保育園の食事は感謝の気持ち、四季折々の味と感性、伝統の味、素材を生かした手作りの味など全てが盛り込まれています。食に留まらず、日々の取り組みにも見られ、自然と共生しています。

変わり行く時代の中で、大切にしている思いが根付き、成長している園の姿勢は、理事長先生初め多くの方の“ぬくもり”の集まりだと思います。

これからも子どもさんの“食”を大切にされ、職員の皆様のご活躍と、保育園のますますのご発展を楽しみにさせていただきます。



地域の親子の学びの場

評議員 内野 光智

創立70周年を迎えられ、何人の生徒さんが巣立ったのでしょうか。

我が子もそのうちの一人です。一人っ子ですのでお友達はできるだろうか。オモチャはお友達に譲ることができるだろうか。我儘をしてクラスの輪を乱さないだろうかと親として大変な不安を抱えておりましたが、園の保育目標「豊かな人間性」「自発的な思考力・判断力・表現力」「健康な心と体」に沿って実に沢山のバラエティーに富んだ年間行事を組んで下さり、尚且つ先生方が熱心に、親身に愛情を注いで接して下さったおかげで感情豊かに闊達な人格形成を育んでいただき感謝に堪えません。

沢山の年間行事を組んで下さる園の負担は計り知れず先生方のご苦勞もただならぬものでありますが、そのお姿に惹かれ地域の方達も支援をして下さる光景に、人の関わりがあるべき姿を保護者も学ぶことができる大切な保育園であります。

いつまでも地域の親子の学びの場として、百周年を目指して頂きたいです。



創立70周年を祝して

評議員 望月 美樹

この度は大野山保育園、創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

私は身延で育ち、現在は薬剤師として身延で働いております。身延町薬剤師会では私が子供の頃からフッ素洗口で虫歯の予防をしており現在も続けております。前任の回生堂薬局依田先生より引き継ぎまして、現在は私が大野山保育園の担当をしております。

また、4年前より評議員としてご推薦いただき、微力ながら保育園の運営に関わらせていただいております。

大野山保育園では、食育や遊びの中から学び、この子供たちがどんな大人になるのか、なってほしいのか、という将来を考えた教育をされていることにとても共感しております。私が子供の頃は山に遊びに行くのは簡単にできていたと思います。今では子供だけで山に遊びに行くなんてとんでもない!と怒られてしまうでしょう。そのような背景のなかで、裏山保育活動は子供たちにとってとても貴重な経験になり、自然と共に生きていることを子供たちに感じてもらえる機会であると思います。

私も、子供たちの健康を守り、薬に関する相談や情報提供をし、今後も大野山保育園の発展に協力して参りたいと思います。

最後になりますが、大野山保育園に子供たちの笑顔があふれ、教育、保育の充実と発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



創立70周年にあたって

評議員 高山 一浩

大野山保育園が創立70周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

また、昭和・平成・令和と長年にわたり身延町の子供たちの健全な育成にご尽力されてこられた事に感謝申し上げます。

成長を支え続けてきたご尽力には敬意を表します。

社会環境がめまぐるしく変わる中、長きにわたり地域の子供たちの成長を支え、安全に守り続ける事は並大抵ではない努力があったからこそだと思います。

令和に入り認定こども園の認定を受け、また園長も6代目となり、時代の変化に合った新しい姿の大野山保育園へと進化していくことだと思います。

70年という歩みの中培ってきた経験と実績を元にこれからも子供たちの良き成長の場所として発展していくことを心から願います。私も、卒園児の1人として、子供の保護者の立場として大野山保育園と一緒に歩んできました。

これからも評議員として微力ながら協力させていただきたいと思います。

認定こども園・大野山保育園の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



おめでとうございます

評議員 生井 真未

創立70周年おめでとうございます。私は、大野山保育園の卒園児で、高山有園長と同級生で、5年間共に保育園にお世話になりました。私が園児だった頃も、いろいろな体験をさせてもらいました。

今でもアルバムを見ると懐かしく楽しい思い出が蘇ります。大野山保育園は、自然に恵まれていて安心できる場所にあると思います。そしてその自然を生かして、いろいろなことを子どもたちに体験させてくれる保育内容は、本当に素晴らしいと思います。

これからも、子どもたちの笑顔の絶えない園であるように応援しています。



創立70周年ころからお祝い申し上げます

理事 依田 一彦

昭和26年5月5日大野山保育園が開園され、本年で70周年という歴史を築き、園名も清和福祉会認定こども園大野山保育園という名称となり、園長も4代沢村清史、5代沢村和子から長女高山有に園長が引き継がれ、時の流れを感じさせられます。

理事という肩書を添えているだけで何の役にも立たず現在に至っています。実は私も大野山保育園の2期生として卒園させていただき、又、私の4人の息子や娘も大変なお世話を賜り卒園させていただき感謝の限りです。

「一人ひとりの子どもを大切に生きる力を育てる」という理念のもと思いやりや、探求心等自発的な思考力!という保育目標に向かって指揮を執る、高山有園長の力を信じて大野山保育園にご縁のある子どもたちに、身延町民の基礎を築いていただけることを心より楽しみにしてお祝いの言葉とします。



歴史を継ぐ

理事 栗田 恭子

歴史の流れは早く五代目園長から六代目若い園長にバトンが渡されました。

災害、コロナ戦争と不安な報道の昨今、危機管理をはじめ多様化される施設運営のご苦労には頭が下がります。

将来を担う園児への保育教育、個々の個性を見極め「その子らしく元気に素直に育てて欲しい」誰しもが思う願いです。期待に応える「ぬくもり教育」職員相互の共通理解のもと地域ボランティアの協力で心を合わせ具現されています。

何年か前にお遊戯会に招かれ舞台を拝見したことを印象深く覚えています。そこには手作りの衣装をまとった幼い園児が先生方と一体となり一生懸命演じている姿には感動して涙しました。

歴代の園長の創意工夫があって大野山保育園のカラーが70年に渡り引き継がれて時代に即した「かたち」として受け継がれており歴史の重さを感じています。

理事長と園長の二人三脚で更なる地域に根ざし無くてはならない施設づくりにエールを送ります。



大野山保育園創立70周年に寄せて

理事 望月 香生

認定こども園大野山保育園が創立70周年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

さて理事を仰せつかり4年になります。教育、保育を一体的に行うこども園として、機能を十分に生かした数々の実践を見聞き出来ました。

食育教育において、園長を中心に保育士、栄養士、調理師、地域のボランティアの連携を生かした子ども主体のクッキング教室は、幼児から食の大切さや感謝の気持ちを持たせることに大変効果的で素晴らしいと思います。

音楽教育において、バイオリンコンサートは、幼い頃から本物に触れ、親と共に生の音をきき感性と情緒を高める贅沢な時間だと感じました。

結び、大野山保育園の初代園長沢村清一先生の理念である『児童は家の宝なり』の70年の実績を、子育ての指針として地域に広げ、子どもがさらに家の宝、地域の宝となっていくことを期待し、大野山保育園の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

以下3人の理事は写真にてのご紹介となります。



理事
片田 駿三



理事
田中 一仁



理事
三塚 多恵子



大野山保育園創立70周年に寄せて

苦情解決等に関する第三者委員 山内 寛久

大野山保育園創立70周年おめでとうございます。

長年にわたり温かい心で優しく園児を見守り続けてくださった沢村先生、本当にありがとうございました。

卒園児の小学校の入学式の時、また卒業式の時いつも沢村先生は足をお運びくださり、一人一人を抱きしめるようにお祝いのお言葉をお話くださいました。そんな先生を子どもの頃から見ている、自分も先生のように子どもに心からの安心と温もりを与えられる大人になりたいと思って参りました。そして平成29年には閉校する大河内小学校最後のPTA会長の役を仰せつかりました。卒業式に沢村先生もご臨席される中、お祝いの言葉を述べさせていただきました。その内容を先生はとても褒めてくださったことが記憶に残っています。

令和2年4月から「認定こども園大野山保育園」と新たな名称になり、更なる発展を期待しています。歴代の園長先生の思いを受け、新高山有園長先生は益々充実した園を作り上げてくださることでしょう。これからも陰ながら応援しております。



創立70周年おめでとうございます

苦情解決等に関する第三者委員 瀧井 千鶴

私の保育園との出会いは、26年前でした。

3人目の子どもが生まれ、以前幼稚園や託児所勤務の経験もあり採用が決まったことを覚えています。23年余り保育の仕事に携わりました。大島保育園は桜が美しく子ども達と桜吹雪の下で走り、夕涼み会での灯籠作りやナイヤガラの花火、お泊り保育のバーベキューや流しそうめん、運動会、お遊戯会等思い出は尽きません。懐かしくかけがえのない素敵な時間を過ごさせていただきました。昨年第3者委員を仰せつかりました。縁が繋がっていることに感謝し未熟ですがお役に立ちたいと思います。

認定子ども園になり有先生が園長先生に就任されうれしく思います。これからも大野山保育園の発展を心よりお祈り申し上げます。



創立70周年に寄せての寄稿文

大野区ボランティアクラブ代表 望月 信善

創立70周年を心よりお慶び申し上げます。この節目を迎えるには、初代から今日に至る園長を先達とする園の皆様方の並々ならぬ努力と機知があり、幾多の時代の変遷を乗り越えてこられた英断の結果と推察いたします。

大野区ボランティアクラブは平成24年4月から園の発案により、地域住民有志の「絵本読みクラブ」「農業クラブ」「園芸クラブ」「手芸クラブ」の活動を始めました。

更に平成29年2月より裏山整備活動を開始し、多くの皆様の尽力により翌月には園児たちの初登山が実現し、園児たちが自然の中でのびのびと個性を生かして遊べる空間を創る事ができました。これらの活動の継続には、園長先生を中心とした諸先生方の細やかな気遣いとそしてなによりも園児たちの純真な心のパワーの励ましがあつたからだだと思います。感謝!当クラブも活動の新たな進展を迎え今後も多くの皆様方の参加をお待ちしております。大野山保育園の益々の発展を祈念いたします。



大野区ボランティアクラブ
代表メンバーのみなさん



大野山保育園との出会い

英語講師 ブライアン シェパード

創立70周年おめでとうございます!こちらで英語教室講師をさせていただき、今年で6年目を迎えます。

こうして大野山保育園の先生方や子ども達と関わらせていただけること、大変光栄に思っています。いつでも変わらず笑顔で温かく迎えていただき、大野山保育園で英語教室のある日は朝からとても楽しみにしています。そして、子ども達の学びへの前向きな姿勢と、先生方の愛情あふれる関わりは本当に素晴らしく、もし近くに住んでいたら自分の子どもを通わせなかったです。

私事ですが、小さな英会話スクールを経営して12年になります。子ども達の大切な時期に、成長や学びを育てる環境を整え、長い間運営していくということは、大変なエネルギーと努力を要するということを、少しですが理解しているつもりです。そして、大野山保育園を訪問する度に、そのプロフェッショナルな仕事を見させていただき、学ばせていただけることに感謝しています。

これからも大野山保育園がみなさまに愛され、益々発展されますよう心より願っています。



命を育み、命を慈しむ園

南部 早蕨 前田 幸子

命の輝きを大切に育み慈しむ園の思いが、日々の保育・教育。地域も喚起したお山の整備、かけがえのない1日へと集積しているのだと感じています。

大野山保育園では芸術面での教育も盛んで、私も絵画指導者としてお招きいただき皆と絵を描いてきました。白い紙に色をのせていく時の勢い、変化を楽しむ様子や発想に心躍り「未来は大丈夫!」と破顔している自分がいます。熱中して楽しむこと、何かを生み出していく喜び、自信を持つこと。造形活動や絵画の世界にどっぷり浸ることで与えられる素敵な事も多くあると信じています。

また、この園に強く感じる事「子どもに愛された思い出は大人になったあなたを、きっと救ってくれる」こんな言葉を思い浮かべたりしながら、皆さんと向き合っています。

私の「物を作ることへの思い」が子どもたちの輝く未来と、新たなスタートを切った清和福祉会認定子ども園大野山保育園の発展の一助になればと願っています。



創立70周年おめでとうございます

体育講師 ヤマ・スポーツクラブ所属 杉村 健太郎

大野山保育園が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

大野山保育園で体育指導を始めてから12年目になります。

人として一番大切な基礎を育てる乳幼児期に、やさしさの中の厳しさ、細かい目配り、そして何よりも子供を見守る温かい眼差し、指導者としての大切なことを、園長先生をはじめ諸先生方から自分自身も学びました。

長い人生の中でいろいろな出会いがあり、繰り返されていくことと思います。子どもたちにとって、大野山保育園との出会いが素晴らしいものとなるように、これからも心を込めて努力していきたいと思っています。

大野山保育園の70周年を新たな飛躍の出発点とし、益々の発展を心から願い、お祝いの言葉といたします。



懐かしい日々

平成20年度卒園児代表 河野 哲太

大野山保育園の創立70周年に際しまして寄稿の機会を頂いたこと、とても嬉しく思います。水色の園服、クッキング、古いけれどきれいだっただ大島の園舎、園庭の桜の木、元気すぎる私たちに声を枯らしていた先生方・・・

私は現在大学1年生で、卒園からは10年以上経つのですが、当時の記憶は曖昧ながらもぼんやりとした輪郭を描きながら残っています。

現在の園舎は、私が年長の時に竣工しました。真新しくきれいな園舎にとっても興奮し、広い地下ホールを走り回ったことをよく憶えています。保育園との繋がりは卒園後も続きました。夏休みに開催された寺子屋教室に小学校6年間お世話になりました。草木染、ロシアンルーレット、パン作り、園児との触れ合いなど普段できない体験の場となり、夏休みのいい思い出ができました。

また小学校、中学校卒業時には「保育園に挨拶に行こう」と誰からともなく声が上がりお邪魔させてもらいました。突然の来訪にも園長先生はじめ先生方が笑顔で迎えてくださりました。離れていても保育園はいつも私たちの心の中にあり、それはこれからもずっと変わらないと思います。

いつも私たちを支え見守ってくれた保育園、母子2代でお世話になった保育園が、これからも末長く発展していくことを願っています。



大野山保育園創立70周年に寄せて

昭和43年3月大島保育園卒園：山梨県子育て支援局長 依田 誠二

大野山保育園創立70周年おめでとうございます。

大野山保育園が創立された昭和26年は、戦後の復興期であり、その後我が国の社会経済情勢は、高度経済成長やバブル崩壊など大きく変遷してきました。また、第2次ベビーブームを経て、核家族化や少子化が進行し、地域のつながりが希薄化するなど、子どもや子育てを取り巻く環境も大きく変化しています。

このような中、大野山保育園では、その時々の子育て支援の要請に応え、時代に即した保育を提供されるなど、子どもたちの健全な育成や地域福祉の向上に大きく貢献されてきました。これもひとえにこれまで大野山保育園の創立、運営に携わってこられた代々の理事長や園長、先生方のたゆまぬ努力の賜であり、心から敬意を表させていただきます。

さて、私は現在、県の子育て支援局に勤務しています。保育園とは非常に関係の深い職場なのですが、業務の中で「大野山保育園」の名前をよく耳にします。特色ある保育、先進的な取り組みを行っている園として名前が出ており、卒園者の一人として、とてもうれしく感じ、誇らしく思っているところです。

我が家では、私と子ども3人が統合前の大島保育園、統合後の大野山保育園でお世話になりました。先生方は今でも会えば笑顔で声を掛けてくれますし、当時のことを思い浮かべるとなぜか心が温かくなります。私たち家族にとって、大野山保育園はもうひとつの家庭のようにさえ思えます。

保育を取り巻く環境は今も変わり続けており、保育園に求められる役割も多様化していますが、時代が変わっても、子どもたちの健やかな成長を望む親の気持ちは変わりません。「児童は家の宝なり」。初代園長が掲げた理念が受け継がれ、今後も大野山保育園において子どもたちが心豊かにたくましく育っていくことを心から願っています。





多くの感動に感謝

歴代主任代表 望月 延江

地域の皆様に愛され守られての大野山保育園創立70周年、おめでとうございます。

私自身、長い間保育園でお世話になり、園長先生、職員の皆様、保護者の皆様に感謝の気持ちと、子どもたちにも感動をありがとうと伝えたいです。

子どもが好きと勤めだしましたが、「三つ子の魂百までも」といわれる純真で大事な時のお子さんを保育していく責任の重大さに私でいいのかしらと常に自問していました。

「子どもは宝」の精神で園長先生、職員は、わが子を育てる気持ちで一生懸命いろいろな行事や新しい保育を実践し、子どもたちは目を輝かせ、体験する度に自信と逞しさが見えました。

プール遊びでの歓声、運動会での鼓笛演奏、お遊戯会での発表、卒園式では小学生になるんだと堂々とした姿を見せ、子どもの成長ってすばらしいと感動しました。

「子は親の鏡」といわれますがよく見ているんだと改めて保育という仕事の大切さ、子どもへの愛おしさを感じ、今はどうしているのかしらと、勝手に想像してわくわくしています。

いろいろな活動の取り組みが新聞記事で紹介されるたびに、自分事のように嬉しく誇りに思っています。これからもさらに大野山保育園の益々のご発展と、園長先生、職員の先生方、園児、保護者の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



長い歴史に思いを寄せて

令和2年度大野山保育園保護者会長 雨宮 尉仁

70年の間、沢村園長先生を始め代々の沢村家の御家族の方々には、お世話になりました。のべ約3000人の卒園生を送り出したことと思います。

私の父は当園第一期卒園生であり、現在76歳になります。私自身も昭和52年に卒園しています。3番目の娘がこの春卒園し、現在小学校1年生になりました。

隣接するぶどう畑で3代にわたり仕事をする私も、園の様子を垣間見ることができました。朝から大きな声で挨拶をして、楽しく過ごす園児は、時代が変わっても変わらないものだと感じています。

これからも、沢村理事長、高山園長先生をはじめ職員の皆様には御身体をご自愛くださいまして、元気な子どもたちの声が溢れる園を続けていってください。



創立70周年に寄せて

令和3年度認定こども園大野山保育園 保護者会会長 沼澤 正幸

前理事長先生が運転した保育園バスがゆっくり止まると、「バタバタン」と大きな音を立てて扉が開き、田中りえこ先生が降りてくる。見上げる程大きな先生が元気な声で「おはようございます。おはようございます。おはようございます。いってきまーす。」と耳に残るフレーズ。

私は母親の後ろにピタッと張り付き乗ろうともしない。その時の先生の少し困った顔と母親のセーターがチクチク頬にあたる感触。

途切れ途切れの記憶の中で鮮明に残っている39年前の記憶。

そして30年近くの時が経ち私の子供がまた同じように大野山保育園に通っている。

園から帰るとキラキラした目で息もつかず保育園の出来事を話してくれる長女。多くは語らないが休みの日でも保育園に行きたがる次女。

長女はお気に入りの先生の事を家では相棒と呼んでいる。年中さんになったある日「大きくなったら保育園の先生になる。」と話してくれた。「なんで?」と聞くとその相棒の先生みたいな先生になりたいと話してくれました。

まだまだ子供だと思っていた娘が、保育園という子供達と先生達の世界の中で、出会い、憧れ、決断と親の知らない所で大きく成長している事に驚かされました。また、そんな先生方に保育していただける事にとっても感謝しております。70周年の節目の年に保護者会会長という大役を頂き、光栄に感じます。

5年生になった長男は3年保育、3年生の次男は4年保育、年長の長女は6年保育、年中の次女は5年保育と、保育園に助けられながらここまでやってくる事ができました。この機会に少しでもその恩返しが出来ればと思っています。

最後になりましたが、大野山保育園（大島保育園）創立70年おめでとうございます。

子供の減少。子供を取り巻く環境の変化。様々な困難も乗り越え、これからも身延町の風土にあった、温かいぬくもりのある園が今後も続いていく事を心から願っております。



70周年を迎えられたことに感謝！



清和福祉会 認定こども園 大野山保育園

前理事長 沢村 清史

理事長 沢村 和子

この度、大野山保育園は創立70周年を迎えました。なんと25550日の長い年月を経過してきたことに驚きと喜びが交差しています。ここまで継承できたことは、多くの先人や先輩たちが積み上げてくれた努力の賜物であります。

さて、大野山保育園の歴史を紐解くと、昭和26年5月5日子どもの日に、大野山本遠寺西尾貫遂貫主様が庫裏を集落の子どもたちが集まる場所として、また境内は遊び場所として開放してくださったのが大野山保育園のはじまりでした。現在70半ばの方々が子どもの頃、境内で暗くなるまで遊んだ思い出を楽しそうに話してくれました。上級生は下級生や幼い子の面倒を見ながら皆で遊んだこと、子どもながら先輩にあこがれたこと、先輩は後輩の面倒を見ることからお互いに優しさ思いやりが育ったようです。設置者が西尾きくに代わり、さらに甥であった沢村清一に託され、家族一丸となって福祉の仕事に専念され私財を投じて園舎を建てたことを聞きました。

このような時代、保育園は施設整備も整わない環境設定も不十分の中、歴代の理事長、園長をはじめ職員たちは、子どもや保護者が安心して保育を利用できるような面で工夫をしてきました。昭和30年代には大島保育園も設立しました。当時中学生だった清史前理事長は休みの日という朝から晩まで姉たちと一緒に園舎の作業を手伝ったそうです。

昭和60年代は日常生活の体験活動を取り入れ、保護者会との連携行事も増え、地域住民との交流も深まってきました。時は平成に変わり2園とも園舎の老朽化が進み、長年の夢であった新園舎の建設に取りかかり、平成20年9月に完成しました。大野山保育園、大島保育園の統合がやっと叶いました。「立派な園舎を造りたいな」と口癖のように言っていた先代（故 沢村清一）が100歳の誕生を迎えた感慨深い年でした。

新園舎を造ることは継承してきた私たち夫婦の使命であり、喜びもひとしおでした。ここまでの道のりはどれだけ多くの方々のお力、ご支援をいただいたことか言い尽くせません。

令和2年4月1日、6代目となる高山有が園長を継ぎ、さらに保育の質の向上に日々努力を重ね、恵まれた自然環境から学ぶ裏山活動、食と遊びから学ぶ教育・保育を取り入れてきました。さらに異年齢クラス（3～5歳児の混合保育）の構成で日々の保育を行っています。70年前の、遊び学んだことをいま追体験として異年齢児の混合保育に取り組んでいます。日々成長する子どもの姿から私たちもたくさんのパワーをいただいています。

大野山保育園で出会った方、これから出会う方、すべてのご縁を大切に職員一丸となり、子どもたちの最善の利益を考慮した保育に専念し日々精進してまいります。これからも保護者の皆様、地域の方々、行政関係者の皆様のご支援ご協力お願い申し上げます。



清和福祉会 認定こども園 大野山保育園

園長 高山 有

祖父、父、母へと受け継がれ地域に必要とされる施設として70年間運営できていることに地域の皆様方をはじめ、多くの保護者、関係者の皆様に心から感謝いたします。

歴代園長の長年の積み重ねと実績が信頼となり、今の私を支え、守り、誇りとして心の中に存在しています。そして、その誇りが日々姿勢を正し、私が保育の道に専念できるよう導いてくれています。

私は常に『先生方への感謝を忘れずにいたい』という気持ちで過ごしています。そんな中、病院に行く車の中で父が『働いてくれる先生たちも大事！でも、建物がなければ保育園はできない』とゆっくりと話し始めました。

園舎建設に伴う多額の借金、少子化に伴う園児数の確実な減少、保育園を継続する様々な心配事が父の頭の中にはあったはずですが。そして新園舎が完成し10年が経ち、後継者が決まり、やっと価値のあるものになったと話してくれました。職員や園児が過ごす『土台』の大切さ、この建物を建設するにあたっての父の強い覚悟に気付かされた瞬間でした。

2つの園が統合し、現在の建物になってから12年が経とうとしています。来園して下さる多くの方々が『まだ新しい建物ですね』と必ず口にします。それは、職員が毎日丁寧に掃除を行い、環境を整えていてくれるからです。土台となるこの大野山保育園を多くの職員が支えています。建物、人、そして環境が整えられ、初めて保護者支援の教育・保育が実現します。

令和2年4月1日から認定こども園大野山保育園として職員の拡充、それに伴いさらに丁寧な教育・保育が実践できる態勢が整いました。多くの有識者の協力もあり、保育はもちろん自然環境を活かした教育的な関りを重視した活動も行っています。職員一人ひとりの専門性や個性を活かし、子どもたちの経験がさらに広がるよう全職員が理念に向かい一丸となって協働しています。このマンパワーが認定こども園大野山保育園の強みでもあります。

教育現場では、国を支えていく子どもたちには、どんな教育や経験が重要なのかを国が示し、幼児教育の重要性が広く周知され、学習法が大きく変化しています。さらに、すさまじいスピードで変化していく時代の中、AIを活用した未知の世界へと突入していくと言われていきます。働く環境や求められる能力・人材も変化していきます。その時代に生きていく子どもたちに必要な教育が環境やあそびを通して行う「生きる力」の育成になっていきます。

子どもたちが見た景色、体験を通して感じた様々な経験が一人ひとりのこころに残り、「ふるさとみのぶ」を誇りに思える子どもたちを育てていきたいと思っております。

創設者沢村清一の「児童は家万代の宝なり」この生涯の理念を忘れず、「常に子どもが中心であること」を念頭に、未来を支える子どもたちのために保育の道に専念いたします。

子育てなら山梨で！とっていただけるような幼児教育の基盤を築き上げることを大きな目標に掲げ、研鑽していきます。保護者の皆様、行政関係者、支援して下さる方々、地域の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

大野山保育園



II. 写真で見る70年の歩み



旧大野山保育園 園舎



大島保育園 園舎



木登りが大好き

1951→1964

昭和26年～昭和30年代

戦後、物資が貧しい時代にお寺の庫裏を保育室に解放してくれた西尾貫遂貫主様。当時の母親は、洗濯おそうじはもちろん、幼い子をおんぶして食事作りや田畑の仕事にとフル回転で働いていました。子どもも家でのお手伝いはあたりまえで、農家で育ったこの世代の人たちは早くから縄を編むことも身につけていたようです。

お手伝いを通し親や地域の方から生活の知恵を学ぶことができたのもこの時代の特徴でした。

木のぼり、おすもうごっこ、桑のぼうを使ったチャンバラ、棒野球、石けり、どろだんご等自然が大きな玩具であり、おもちゃは、めんこ、ビー玉、おはじき、祖母や母が作ってくれたお手玉でした。35年頃はだっこちゃんやフラフープが大流行。当時は鼻たれ小僧もいっぱい、袖口がガバガバしていたり、テカテカ光っていたことも思い出されます。お母さんが繕ってくれたズボンやくつ下が当り前の時代でした。



あれから50年後の卒園児
シャイな3人組



第1回卒園式
(昭和27年3月)



本遠寺境内の庭で
相撲に興じる子供たち
(写真提供:松野重郎氏)



親子ふれあい会 (昭和29年)



新園舎にて入園式 (昭和31年)



運動会



2歳児のおゆうぎ



元気に降園する子供たち (写真提供：松野重郎氏)



境内での運動会 (昭和37年)

第10回卒園式
(昭和35年)

昭和26年～昭和30年代のおもなできごと

- 昭和26年 9月
対日講和条約・日米安全保障条約調印
- 昭和27年 4月
NHKドラマ「君の名は」放送開始
- 昭和28年 7月
伊東絹子ミスユニバースで3位入賞
- 昭和29年 3月
ビキニ水爆実験で「第五福竜丸」被爆
- 昭和30年 10月
J. ディーン主演「エデンの東」封切
- 昭和31年 1月
石原慎太郎の「太陽の季節」に芥川賞、太陽族の新語が流行
- 昭和32年 1月
南極観測隊、昭和基地を建設
- 昭和33年 4月
巨人軍 長嶋茂雄4打席連続三振デビュー
- 昭和34年 4月
皇太子明仁親王、美智子様ご成婚
- 昭和35年 11月
米大統領選で、民主党のJ. F. ケネディ当選
- 昭和36年 4月
ソ連、世界初の人間衛星船打ち上げに成功 ガガーリン少佐搭乗
- 昭和37年 8月
堀江謙一 小型ヨットで太平洋横断に成功
- 昭和38年 11月
ケネディ大統領、ガラスで暗殺される
- 昭和39年 10月
東京オリンピック開催 東海道新幹線営業開始



七五三のお祝。
五社神社前にて（昭和44年）

1965→1974

昭和40年代

台風の影響により園舎は土砂で埋まり、職員はもちろん保護者・地域の方々大勢のお力をいただいた奉仕活動。園は一週間休園し、復旧作業に精を出しました。その後園舎を増築し、保護者の方々も大変喜んでくれました。

約15年間徒歩で送迎した職員も46年からマイクロバスの送迎になったことは、当時としては活気的な判断でした。子どもたちも大喜びでバスに乗るのが楽しみでした。

景気も39年オリンピックを境に徐々によくなり、お母さんたちもミニスカート、パンタロンといった服装が目立ちました。そして、境内での運動会やおゆうぎ会は親子ともに何よりの楽しみでした。サテンで作った衣装は縫うのが大変でしたが、この衣装を着ることが別世界の自分になれた気分であったようです。

遊びはしゃぼん玉、缶けり、キャッチボール、電車ごっこ、大縄とびなど外遊びが主流でした。

おゆうぎ会七福神
（昭和45年）



台風で土砂が園舎に
流れ込む（昭和41年）



卒園式。和服姿のお母さん方が目立つ（昭和40年）



おゆうぎ会でのうたの発表（昭和44年）





おゆうぎ会おひなさま (昭和45年)



大野地区のプールにて (昭和45年)



運動会 (昭和45年)



送迎用マイクロバス購入
役場で納車式 (昭和46年)



第18回卒園式。
過去最高の47人の
園児が卒園 (昭和44年)

昭和40年代のおもなできごと

- 昭和40年 2月
アメリカがベトナム戦争に直接介入
- 昭和41年 6月
日本武道館でビートルズの日本公演が行われる
- 昭和42年 10月
ミニの女王ツイッギー来日 ミニスカートブーム
- 昭和43年 12月
東京府中市で三億円強奪事件発生
- 昭和44年 7月
米国アポロ11号 人類初の月面着陸に成功
- 昭和45年 3月
日本万国博覧会が大阪で開幕
- 昭和46年 5月
大相撲夏場所で横綱大鵬が引退
- 昭和47年 2月
冬季オリンピックが札幌で開幕 70M級ジャンプでメダル独占
- 昭和48年 10月
オイルショックで日本列島トイレトペーパー狂騒となる
- 昭和49年 3月
元陸軍少尉小野田寛郎さん28年ぶりにルバング島から帰国



七五三のお祝い
(昭和54年)

1975 → 1984

昭和50年代

園児が最も多い時代。保育室がとても狭く感じました。朝登園する時めそめそ泣く子、泣くのをこらえている子、〇〇ができない、〇〇が食べれないと困って泣く子、何とかがまんしようとする子どもたちが多かったようです。

この年代の特徴として女性が社会に進出してきた時代です。朝仕事に行くお母さんに何となく淋しい気分で親離れがスムーズにできない。一人泣くと連れられて泣き出す子がいて、しばらくは大合唱でした。遊びの特徴としてはテレビの影響が大きく、ゴレンジャーごっこ、キックボール、おもちゃは積木、カラーブロック等が主であり、外遊びも室内遊びも増えてきました。

運動会、おゆうぎ会はこの年代から大野山・大島保育園合同発表会となり、ますます盛大になった鼓笛演奏も、大勢の観客からいっぱいの手拍をもらい、職員も子どもも涙が止まらなかったことを思い出します。



みごとな桜の
木の下で
(昭和51年)



ののさまにお祈り (昭和54年)



園庭での給食 (昭和50年)

楽しい
芝すべり



おゆうぎ会 (昭和55年)



納涼会



やきいも、おいしかったよ



親子遠足



第30回卒園式
(昭和56年)

昭和50年代のおもなできごと

- 昭和50年 5月
田部井淳子さん 女性で世界初のエベレスト登頂に成功
- 昭和51年 7月
東京地検、ロッキード事件で田中角栄前首相を逮捕
- 昭和52年 9月
巨人軍 王貞治選手通算ホームラン756号の世界新記録を樹立
- 昭和53年 11月
甲府市貢川に山梨県立美術館が開館
- 昭和54年 10月
TBS「3年B組金八先生」の放映が開始される

- 昭和55年 5月
日本五輪委員会 モスクワ五輪不参加を決定
- 昭和56年 7月
英国チャールズ皇太子 ダイアナと結婚
- 昭和57年 2月
ホテルニュージャパンで火災 33人が死亡
- 昭和58年 4月
千葉県浦安市に東京ディズニーランドがオープン
- 昭和59年 2月
冒険家 植村直巳氏マッキンリー下山途中に消息を断つ



ふれあい会
おじいちゃんともちつき

1985→2001

昭和60年代～平成13年

老朽化した園舎内には元気な子どもたちの明るい声がひびきます。今では泣きながら登園する子どももめずらしい時代になりました。鼻たれ小僧も、遅いガキ大将も見受けられませんが、どの子どもそれぞれ個性を主張している時代となってきました。

高度経済成長を背景に生活はどんどん豊かになり、親子で過ごせる時間も、遊び場所も整っており、お金を使えば誰もが共通な体験ができる時代になりました。

その一方で少子高齢化社会ともいわれ、園では祖父母とのふれあいを取り入れ、七夕かざり、ふれあい運動会、もちつき会、たこあげ会、だんご作り等交流を取り入れました。

年長さんのクッキング保育で生活体験したり、男性保育士による体育遊びで体力作りをしたり、また老人ホーム等への慰問活動を行う等小さな社会貢献を体験しています。



ちびっこ広場で（昭和60年）



第44回卒園式 この年卒園児が11人と最も少なかった（平成7年）



花まつり（大野山本堂にて）



ヤッター！すいかわり



「ふるさと」の歌を手話で（平成7年）



25年間続けてきた鼓笛演奏最後の披露（平成11年）



さあ、にげよう！防災訓練（平成11年）



クッキング教室



体育遊び



JR身延駅で恒例の七夕かざり



特別養護老人ホームみのぶ荘を慰問



三世代交流たこあげ会

昭和60年代～平成13年のおもなできごと

- 昭和60年 8月
日航ジャンボ機 御巣鷹山に墜落 死者史上最大の520人
- 昭和61年 10月
かいじ国体で県勢が天皇杯皇后杯を獲得
- 昭和62年 10月
ノーベル医学生理学賞に利根川進氏に決定
- 昭和63年
NHK大河ドラマ「武田信玄」で県内の観光地がにぎわう
- 平成元年 1月
昭和天皇ご崩御 新元号「平成」となる
- 平成 2年10月
東西ドイツ45年ぶりに国家統一 ヘルリンの壁消滅
- 平成3年 6月
雲仙普賢岳で火砕流発生 死者43名に
- 平成4年 1月
貴花田（現貴ノ花）大相撲初場所で史上最年少（19歳5ヶ月）で優勝
- 平成5年 6月
皇太子と小和田雅子様ご成婚

- 平成6年 6月
オウム真理教「松本サリン事件」が発生 死者7人重軽症者600人の惨事
- 平成7年 1月
マグニチュード7.2 阪神・淡路大震災が発生
- 平成8年 8月
映画「男はつらいよ」の主演 渥美 清が死去
- 平成9年 6月
神戸児童殺傷事件で「酒鬼薔薇聖斗」を逮捕 犯人は14歳の少年
- 平成10年 2月
長野冬季五輪開幕 日本人選手が大活躍
- 平成11年 10月
福岡ダイエーホークス 初の日本一に輝く
- 平成12年 9月
シドニー五輪で柔道・田村亮子、マラソン・高橋尚子が金メダル
- 平成13年 9月
ニューヨーク 世界貿易センタービルで同時多発テロ事件発生



「どいてどいて！猛スピードだよ」
近くの土手で芝すべり

2002→2010

平成14年～平成22年

子どもの数が減少傾向になり、それぞれの園の定員を見直す時代となってきた。一方では子育て支援事業として、未就園児の親子や里帰り出産の方が利用できる一時保育事業開始。そして長年の夢であった2園の統合に向けて歩みだしました。平成19年、旧大野山保育園の解体工事が始まり、近隣の旧大野寮を仮園舎としてお借りすることになりました。

たくさんの思い出を抱いた旧園舎や桜並木も最後のお別れの年でした。

平成20年9月25日新園舎完成。10月から新園舎で大野山保育園と大島保育園統合の日を迎えられました。先代の夢をやっと果たすことができ、最高の喜びを家族、職員、保護者と共に感涙しました。平成21年8月から小学生対象の夏休み限定寺子屋教室を開催、多くの卒園児が園児、職員との交流保育を楽しみました。



若林様ご夫婦が毎年園児たちのために「さつま芋堀り」を体験させてくれました。（平成19年）



当時2歳児の私たち。今年高校3年生になりました。（平成18年）



えっ!!これ草だよ。おいしいじゃんもって食べたいよ。（平成18年）



大好きな
どろんこ遊び



運動会 やっぱり玉入れ競争楽しいね



平成12年から始めた親子ふれあい会 この年小学生も交えての最後のふれあい会 「ピカリン」こと二本松先生と（平成18年3月）



缶ぼっくり 上手に歩けるよ！（平成19年）



寺子屋教室 自分たちの食事は自ら作ります ドライカレーに挑戦



寺子屋教室 山内上人様の「生命について」の講話



イチヨウのじゅうたん。ほかほか気持ちいいね！



最後の劇となった「ピーターパン」（平成22年）

平成14年～平成22年のおもなできごと

- 平成14年 3月
中部横断自動車道双葉—白根間開通
- 平成14年 10月
北朝鮮拉致被害者5人が帰国
- 平成16年 10月
新潟県中越地震発生
- 平成17年 10月
山梨県立博物館が笛吹市にオープン
- 平成18年 9月
第一次安倍政権が発足
- 平成18年 1月
NHK大河ドラマ「風林火山」放映山梨にブーム到来
- 平成20年 9月
リーマン・ブラザーズ破たん 世界不況に
- 平成20年 11月
米大統領にオバマ氏当選
- 平成21年 8月
政権交代 民主党鳩山内閣が誕生
- 平成22年 1月
高校サッカー山梨学院高校が全国制覇達成
- 平成22年 9月
B1グランプリで「甲府鳥もつ煮」が日本一に



虫さがしに夢中 この奥に絶対いるよ！
(平成24年)

2011 → 2018

平成23年～平成30年

日本はもちろん世界を震撼させた未曾有の東日本大震災、多くの人々の命を一瞬にして奪った天災事故。決して忘れられない痛ましい出来事でした。

この災害を通し、一人ひとりの力を集結できる強い心を持ってほしいという願いから園の行事を見直すきっかけとなりました。従来の劇あそびから朗読劇へと変えました。

平成24年には地域ボランティア「大野クラブ」が結成、地域の方と園児の交流保育が実現。農業クラブ、園芸クラブ、絵本読みクラブ、手芸クラブの結成、職員もそれぞれに所属し、多くの食農体験や人との関わりを学ぶ機会が増えました。

平成29年度から裏山に歩道を作っただけ、これを機に裏山整備委員会も発足。更に保育面では、異年齢交流保育導入、年少3歳以上児から年長5歳児の混合保育をスタート。平成30年4月から子育て支援事業の一環である未就園児親子を対象の地域子育て支援センター「ぬくぬく」を同施設内に開設。また、秋の実りの季節に「感謝祭」という名称で園に関わるすべての方に感謝の心を込めて楽しんでいただく祭りを開催しています。



おゆうぎ会 一人ひとりが主役の朗読劇「花さき山」



ピザ作り
私たちにまかせて
おいしいピザをつ
くれます



青空の下、クラフトパークで親子で楽しもう「親子ウォークラリー」
(平成24年)



ティーパーティー 1年間みんなよくがんばったね 前理事長先生と乾杯
(平成30年)



お楽しみ会のアンパンマンカレー
「大丈夫？ちょっと力を入れるといいよ」（平成30年）



最後の夕涼み会 芝生広場にて（平成30年）



支援して下さる方々に感謝の心を込めて裏山活動のお披露目の感謝祭（平成30年）



自然体験活動 大柳川渓谷でつり橋を渡る園児たち ドキドキワクワク！



ボランティア農業クラブの皆様と麦の収穫をしました



未就園児親子を対象にした地域子育て支援センター「ぬくぬく」を開設（平成30年）

平成23年～平成30年のおもなできごと

- 平成23年 3月
東日本大震災 東北地方に大きな被害が拡大
- 平成24年 12月
中央道笹子トンネルで天井板が崩落
- 平成25年 6月
富士山が世界文化遺産に登録される
- 平成26年 2月
記録的な豪雪で甲府市の積雪114cm 観測史上最多
- 平成27年 4月
NHK連続テレビ小説「花子とアン」放映始まる
- 平成27年 10月
韮崎市出身の大村智教授がノーベル医学生理学賞を受賞
- 平成28年 5月
オバマ米大統領が広島を訪問
- 平成29年 9月
陸上の桐生祥秀が日本人初の100m9秒台を達成
- 平成30年 7月
埼玉県熊谷市で観測史上最高気温41.5度を記録
- 平成30年 9月
テニス女子大坂なおみが全米オープンで優勝



保育参加会 お母さんと一緒
うれしい! (令和元年)

2019 → 2021

平成31年4月～現在

3歳以上児は、異年齢で構成された縦割り保育を中心に行い、日常生活の中で多くの事を学んでいます。思いやりや尊敬の気持ちを抱き、年長児へのあこがれ等子ども同士が学びあう関わりを大切にしています。

食農体験では地区のボランティアの方々のご協力をいただき、保育面では子どもたちの育ててみたい野菜や果物のリクエストに答え、保育士・栄養士の連携も深まり、食育活動が実践されています。裏山活動も定着し、子どもたちも足腰が鍛えられてきました。「食と遊び」はこのように恵まれた環境と人材で成り立つものと確信しています。令和2年4月には認定こども園に移行しました。

職員数も増え、保育の質の向上に向け、先代の志を子どもたちと共に築き上げる思いがさらに強くなってきました。この年はコロナ禍の影響で規制もたくさんありましたがいいこともありました。

以前から取り組んでいる手洗い、うがいが徹底したこと、保育面では保育士たちが連携を取り、遊びを工夫していることが伝わってきました。それは子どもたちの輝く笑顔の表情から伺え、正に子ども主体型の理想的な保育が展開されています。



まさに「大きなかぶ」の実演



初めての生活発表会「ぐりとぐら」 (令和元年)



険しくてもへっちゃら上手に登ります



新たに始めた学校訪問



恒例となったクリスマスコンサート
子どもたちに本物の音色をプレゼントします



火起こしの体験



0、1、2歳児の「超鈍行列車」出発！



コロナ禍に定着した朝の受け入れ（令和元年）



人数制限・時間短縮、でもがんばりました！（令和2年）



月1回のピザの日「ピザください」はどうぞぞ！



毎日の日課3～5歳児のラジオ体操

平成31年4月～現在のおもなできごと

- 平成31年 1月
横綱稀勢の里現役を引退
- 平成31年 2月
探査機はやぶさ2、小惑星リュウグウに着地成功
- 平成31年 3月
マリナーズのイチロー引退を表明
- 令和元年 5月
皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位 元号「令和」に
- 令和元年 8月
渋野日向子が全英オープンで優勝
- 令和元年 9月
ラグビーW杯日本大会で日本代表ベスト8入り果たす
- 令和元年 10月
消費税10%スタート
- 令和元年 10月
沖縄県那覇市の世界文化遺産首里城が焼失
- 令和2年 2月
新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延 大きな問題に
- 令和2年 9月
安倍首相が辞任し菅義偉内閣が発足

ありがとうございました。

平成20年大島保育園・大野山保育園統合後の寄付芳名者のご紹介



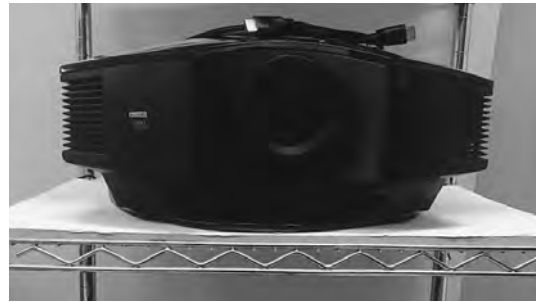
平成20年9月
高山工業所 様 ●園舎裏側の土留め壁工事



平成21年3月
早川志高様 様 ●無垢の手作り捏鉢2コ



平成23年5月 高山工業所 様
●園庭敷地内に橋を作っていただいた。



平成24年3月
高山一浩 様 ●プロジェクター一式



平成26年3月
森田一郎 様 ●図書用書棚一式、絵本を寄贈



平成26年3月
森田一郎 様 ●変形平均台一台



平成26年6月
三塚多恵子 様 ●1~2歳児用室内滑り台一台



平成26年6月
交通安全母の会 様 ●トランポリン一台



平成27年6月
高山工業所 様 ●施設内門扉一基



平成27年11月 内野日総法主猥下 様
●防災備蓄倉庫一式と備蓄品
●職員用エプロン、ジャンパー

大野山保育園



III. 70年の歴史と今



●沿革と取り組みの歩み

■旧大野山保育園の沿革

年号	月 日	主なできごと
昭和		
26	5	大野山保育園開園 大野山本遠寺庫裡から始まった 西尾貫遂貴様のご厚意で始まり、後に 夫人の西尾さく様が設置者となる (写真①.②)
29	12	園長 沢村清一 就任 (西尾さくの甥)
	(46年まで)	定員120名
31	3	現在地に園舎を新築 (ホール・舞台付き)
39	3	園舎増築
41	9	台風の影響で園舎内は土砂で埋もれプール も全壊、園舎を大修繕
46	3	園長 沢村清史 就任
59	4	定員90人に変更
63	4	定員60人に変更
平成		
17	4	定員45人に変更 一時保育事業開始
19	10・1	仮園舎 (大野寮) での保育開始
19	10・24	旧大野山保育園園舎取り壊し工事開始



① 西尾貫遂貴様 (前列中央)



② 西尾さく様 (右から3番目)

■大島保育園の沿革

31	10	大島部落立大島公民館を借用し、季節保育所 として開設 (写真③)
32	4	地域住民の要望により通年保育に切り替える
36	10	社会福祉法人大島保育園として認可 定員55人に変更 理事長兼園長 沢村清一 就任
41	10	園舎新築
51	3	火災のため園舎新築
51	4	定員60人に変更
62	4	園長 沢村和子 就任
	6	食育活動 調理保育活動
平成		
5	9・2	理事長 沢村清一 逝去
6	3	理事長 沢村清史 就任
13	4	リトミック教室、茶道教室、習字教室、絵画 教室等外部講師の指導 (写真④)
13	6	乳児保育開始 子育て相談窓口開設
14	4	定員45人に変更
15	4	一時保育事業



③ 大島公民館を借用して開設



④ リトミック教室

■旧大野山保育園・大島保育園合同の取り組みの歩み

年号	月 日	主なできごと
昭和		
46	4	園児送迎用マイクロバス購入
53	12	2園合同お遊戯会 身延レジャーセンターで開催
58	9	2園合同運動会 鼓笛演奏を取り入れた 身延小学校校庭で開催
58	12	合同お遊戯会もこの年から、身延東小学校体育館を借用し開催
62	6	食育活動の一環として、年長児対象の調理保育を実施
平成		
11	9	運動会での鼓笛演奏、最後の年となった
12	4	身延山久遠寺からの依頼で年3回の3大法要の稚児出仕（年長児）に参加（写真⑤）
13	7	JRみのぶ駅、七夕飾りの要請あり、現在も継続
13	12	お遊戯会の発表を身延総合文化会館大ホールを借用し開催（写真⑥）
17	4	地産地消を取り入れ、旬の食材の一部を大島農林産物直売所から仕入れる



⑤ 稚児出仕に参加



⑥ お遊戯会

■統合後の歩み

20	10・1	私立大野山保育園と社会福祉法人大島保育園が統合新園舎でのスタート 定員120名 理事長 沢村清史 園長 沢村和子 新園舎総工費2億1,500万 （内訳：国補8,157万、町補6,117万、自己負担7,226万）
20	12	社会福祉法人 清和福祉会 大野山保育園として認可
21	5	園庭前の田んぼを借用し、麦やもち米の穀物を作る
21	8	夏休み限定の小学生を対象とした「夏休み寺子屋教室」を開催
21	10	親子ふれあいウォークラリーをクラフトパークにて開催
22	5	体育教室（外部講師）を開始 対象児：3・4・5歳児（写真⑦）
23	4	定員100人に変更
23	4	大野山保育園機関誌「ぬくもり」年2回発行（写真⑧）
24	4	地域住民との交流活動、大野ボランティアを結成 （農業クラブ、手芸クラブ、園芸クラブ、絵本読みクラブ）
25	10	運動会を身延町総合文化会館芝生広場を借用し、開催（写真⑨）
25	11	年長児対象、自然体験活動の一環「大柳川渓谷」散策
28	4	英語教育事業開始（外部講師）身延町補助金事業
30	2	園舎裏側の「裏山活動」が始まる
30	4・1	地域子育て支援センターぬくぬくを同施設にて開設
31	3・31	送迎用マイクロバス廃止
31	4	3歳から6歳までの異年齢保育を実施
令和		
元	7	年長児対象、自然体験活動の一環「芦川グリーンロッジ」で野外活動を開始
元	12	お遊戯会を改め、「生活発表会」の名称に変更
2	4・1	清和福祉会 認定こども園 大野山保育園として認可される 理事長 沢村和子 園長 高山有 就任
2	11・30	大島保育園園舎解体



⑦ 体育教室



⑧ 機関誌「ぬくもり」発行



⑨ 運動会

大野山保育園の主な行事は、長い年月身延町の公共施設をお借りして開催してきました。現在もヴァンフォーレサッカー教室、運動会等芝生広場をお借りしています。

● 統合前の歴代職員名簿

■ 旧大野山保育園 統合後(令和元年度まで)

氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
川 口 守 子	S26. 5.1	S32. 12.31	故人
岩 井 節 子	S26. 5.1	S32. 3.31	
岡 部 和歌子	S26. 11.1	S31. 9.30	旧姓 望月
千須和 久 江	S27. 4.1	S34. 3.31	
松 木 光 恵	S28. 4.1	S34. 3.31	
望 月 伊代子	S31. 4.1	S36. 12.31	旧姓 若尾
小 林 八重子	S31. 7.1	H 1. 3.31	故人
望 月 波 江	S32. 4.1	S46. 3.31	
沢 村 一 三	S34. 9.1	S58. 3.31	故人
望 月 延 江	S35. 4.1	H11. 3.31	H11.4.1~H13.3.31 大島へ
望 月 亜 子	S36. 4.1	S49. 8.31	旧姓 沢村
渡 辺 民 江	S37. 4.1	S39. 3.31	
望 月 静 子	S37. 4.1	S39. 3.31	
渡 辺 恵美子	S40. 4.1	S52. 3.31	故人
依 田 初 美	S40. 4.1	S56. 3.31	
青 沼 ふじ代	S42. 4.1	S44. 3.31	
藤 田 歌 子	S43. 4.1	S48. 3.31	
深 沢 雅 子	S43. 9.1	S46. 3.31	
望 月 洋 子	S44. 4.1	S52. 6.30	
田 中 玉 江	S45. 4.1	S57. 3.31	故人
鴨 狩 波 子	S46. 4.1	S49. 3.31	
若 林 利 恵	S49. 4.1	H16. 3.31	
広 島 つゆみ	S50. 4.1	S62. 3.31	
石 川 銀 子	S51. 4.1	S61. 3.31	
関 弥 ゆう子	S54. 4.1	S55. 6.30	
小 口 昌 美	S55. 4.1	H 1. 9.30	
青 沼 睦 子	S62. 4.1	H18. 3.31	
中 村 亜 希	S63. 4.1	H 6. 3.31	故人
望 月 美紀子	H 2. 4.1	H 4. 3.31	
望 月 静 江	H 4. 4.1	H 6. 3.31	
遠 藤 博 美	H 5. 4.1	R 2. 3.31	
山 田 真 琴	H 9. 4.1	H18. 3.31	
沢 村 清 児	H11. 4.1	H23. 5.31	
市 川 美 穂	H11. 4.1	H21. 3.31	
近 藤 ますみ	H14. 4.1	H22. 3.31	
沢 村 弓 子	H20. 10.1	H23. 5.31	
広 瀬 宇田子	H22. 1.4	H25. 3.31	
佐久間 あゆみ	H23. 4.1	H25. 3.31	
荻 野 昌 隆	H23. 4.1	H27. 3.31	
望 月 やよい	H24. 6.1	H30. 3.31	
片 田 啓 子	H26. 6.1	R 2. 3.31	
北 條 真奈美	H30. 4.1	R 2. 3.31	

■大島保育園 統合後(令和元年度まで)

氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
沢 村 清 一	S31. 10. 1	S62. 3. 31	故人
松 木 充 恵	S31. 10. 1	S32. 3. 31	旧姓 山口
岡 部 和歌子	S31. 10. 1	S34. 3. 31	旧姓 望月
片 田 さく江	S31. 10. 1	H 7. 3. 31	
川 口 守 子	S32. 1. 4	S37. 3. 31	旧姓 市川
若 林 千恵子	S36. 10. 1	S38. 3. 31	
市 川 文 江	S38. 4. 1	S42. 3. 31	
沢 村 育 土	S38. 4. 1	S44. 3. 31	故人
遠 藤 武 子	S39. 4. 1	S58. 3. 31	
石 川 清 美	S41. 4. 1	S42. 3. 31	
青 沼 ふじ代	S46. 4. 1	S48. 3. 31	
高 橋 真 理	S48. 4. 1	S59. 3. 31	旧姓 沢村
藤 田 るり子	S52. 4. 1	S57. 3. 31	
望 月 延 江	S54. 12. 1	H 8. 3. 31	
斉 藤 和 子	S58. 4. 1	H 3. 3. 31	旧姓 若宮
望 月 美紀子	S63. 4. 1	H 1. 3. 31	
山 口 益 美	H 1. 4. 1	H15. 3. 31	
斉 藤 由 紀	H 4. 2. 1	H 8. 3. 31	
瀧 井 千 鶴	H 7. 4. 1	H22. 3. 31	H20. 10. 1から大野山保育園
望 月 るみ子	H10. 2. 1	H18. 3. 31	
熊 王 由 紀	H10. 4. 1	H15. 3. 31	
鮎 川 美 穂	H13. 4. 1	H18. 3. 31	
石 田 美 幸	H20. 4. 1	H23. 1. 31	H20. 10. 1から大野山保育園
堀 内 幸 江	H20. 8. 1	H27. 3. 31	H20. 10. 1から大野山保育園

■嘱託医

- 歯科検診 望月歯科医院 望月 忠隆 先生 H 5年～
- 内科検診 身延山病院 丸山 敦 先生 H15年～

*年2回(春、秋)の健康診断を昭和55年から行っております。



●ご苦労さまでした

■合併後（平成20年度～令和2年度）保護者会役員のご紹介と卒園写真



平成
20
年度

（平成20年4月～平成21年3月）

- ・会長 岩浅 洋介
 (大島保育園)
- 加賀美 克明
 (大野山保育園)
- ・副会長 浅原 将八
 佐野 和巳

平成
21
年度

（平成21年4月～平成22年3月）

- ・会長 佐野 和巳
- ・副会長 伊藤 公太
 芦川 要敬



平成
22
年度

（平成22年4月～平成23年3月）

- ・会長 遠藤 哲夫
- ・副会長 河野 政人
 望月 俊宏



平成
23
年度

(平成23年4月～平成24年3月)

- ・会 長 依田 雅之
- ・副会長 市川 正文
篠原 健



平成
24
年度

(平成24年4月～平成25年3月)

- ・会 長 高山 一浩
- ・副会長 中山 耕史
朝比奈 輝英

平成
25
年度

(平成25年4月～平成26年3月)

- ・会 長 森田 一郎
- ・副会長 天野 芳英
遠藤 陽介



■合併後（平成20年度～令和2年度）保護者会役員のご紹介と卒園写真



平成
26
年度

（平成26年4月～平成27年3月）

- ・会長 上田 本幸
- ・副会長 佐野 博樹
両角 正揮



平成
27
年度

（平成27年4月～平成28年3月）

- ・会長 氏原 孝学
- ・副会長 浅川 司
阿久津 宏彰



平成
28
年度

（平成28年4月～平成29年3月）

- ・会長 内野 光智
- ・副会長 佐野 智也
沼澤 正幸

平成
29
年度

(平成29年4月～平成30年3月)

- ・会 長 依田 俊昭
- ・副会長 深沢 典夫
依田 俊希



平成
30
年度

(平成30年4月～平成31年3月)

- ・会 長 諏訪 一敏
- ・副会長 畑野 顕
若林 透

平成
31
年度

令和元年度

(平成31年4月～令和2年3月)

- ・会 長 池上 幸孝
- ・副会長 小原 大和
岡本 浩和



■合併後（平成20年度～令和2年度）保護者会役員のご紹介と卒園写真



- ・会 長 雨宮 尉仁
- ・副会長 望月 秀哉 遠藤 治元

(令和2年4月～令和3年3月)

●一年間よろしくお祈いします

■令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）
保護者会役員のご紹介



会 長 沼澤 正幸



副会長 丸山 洋



副会長 小林 和也

● 広報誌・新聞等で紹介された園の活動

■ 広報等に掲載された記事



ぬくもり教室
(広報みのぶ 昭和63年11月号)



▲ 楽しい親子クッキング

**大島 保育園で
親子クッキング**

大島・大野山両保育園では、月に一回、食物の大切さ、手作りする楽しさを肌で感じることを目的に、年長さんを対象に「クッキング」を行いおやつ作りに励んでいます。写真は、二月十九日に行われた、大島保育園の「親子クッキング」で、参加した親の皆さんは、「一語に作ることに、親子のふれあい、共通の会話ができてよかった」と話していました。

親子クッキング
(広報みのぶ 平成6年4月号)



入園式 (広報みのぶ 平成5年4月号)



身延中学2年生の「職業体験」
(広報みのぶ 平成11年8月号)

■ 広報等に掲載された記事



12月14日、大島保育園では毎年恒例となっている餅つき会を開催、大島集落の高齢者ら4名も手伝いに訪れて、園児たちと楽しいひとときを過ごしました。(関連記事P.6)

餅つき会 (大島保育園)

餅つき大会
(広報みのぶ 平成20年2月号)



さつま芋掘り (のうさい 平成21年12月号)



七夕飾り
(広報みのぶ 平成25年8月号)



あけほの大豆の種まき
(みのぶ議会だより 63号)

■山梨日日新聞に掲載された記事

山梨日日新聞

育てた麦で「おざら」作り

身延・大野山保育園が体験活動
食育、楽しみながら実践



身延の大野山保育園（沢村和子園長）で8日、郷土料理の「おざら」作りが行われた。小麦粉は、園児たちが1年間かけて栽培してきた麦を使用。圃間は、食の大切さを学習しながら、食育や体験活動を行っている。

おざら作りは年中・年長組53人が、10グループに分かれて生地を作った。小麦粉に水を加えながら、体を使って生地をこねた。その後、年少組がヒールに入った生地を足で踏み、こしのある生地を作った。

圃間や地域の人のための指導を受けながら、のし棒で生地を伸ばし、機械を使ってめんこにする体験もした。

完成したおざらは昼食として出され、園児たちはおいしそうにほおぼっていた。年長の高山園長（6）は「生地をこねるのが楽しかった。楽しかったと話していた。

圃間では昨年の1月に、隣接する約1畝の遊休地に小麦をまいた。今年9月には園児たちが麦踏み、6月は、手回し扇風機を使い通作葉をけりながら、約1畝の小麦を取った。園児たちは麦の成長を観察しながら、命について学んだ。

沢村園長は「食育の体験活動を行うことで感謝する気持ちが育まれる。子どもたちは食べ物を粗末せず、命の尊さが分かる人間になってほしい」と話していた。

育てた麦で「おざら」作り
(平成22年10月8日)

2009年（平成21年）12月29日



身延町大島の依田倉蔵さん（77）は10年以上、地元の保育園で開かれるクリスマス会でサンタクロース役を務めている。写真。今年もプレゼントが詰まった袋を抱いて園児の前に登場し、熱烈的な歓迎を受けた。依田さんは「子どもは地域の宝物。孫の悠佳さんが旧大島保育園の年少組に在籍。保護者会長がサンタ役



保育園の名物サンタに

張り切っている。依田さんは13年前、サンタ役を引き受け、孫の悠佳さんが旧大島保育園の年少組に在籍。保護者会長がサンタ役

を務めていたが、その年は会長が仕事で都合を付けられず、なり手が見つからなかったという。

そこで、子どもが大好きという依田さんがサンタ役を買って出た。以後、自分で衣装も購入。昨年9月の大野山保育園との統合後もクリスマス会に出向き、園児一人一人にプレゼントを手渡したり、園児をひき寄せたり、抱いて記念撮影したりしている。

サンタクロースのおじいちゃん
(平成21年12月29日)

地元小学生を対象に「夏休み寺子屋教室」を開催
(平成21年8月18日)

(第三種郵便物認可)

調理実習や講話…多彩なプログラム
寺子屋教室で夏休み充実



身延の大野山保育園は、昨年10月、同保育園と統合した旧大野山保育園で、地元小学生を対象に「夏休み寺子屋教室」を開いている。自主学習のほか、寺の住職から講話を聞いたり、料理をしたり、プログラムは多彩。参加している児童は夏休み中、学校とは一味違う楽しさを体験している。

「夏休み寺子屋教室」でパン作りを楽しむ児童。身延・旧大野山保育園会。対象は地元の大河内小児童で、1年生から5年生まで21人が受講。大半が旧大野山保育園と調理師のほか、教員OJボランティアで講師を務め、身延山主人が講師をサポートしている。

峡南

統合前の旧国京ある大野山地区民から園を借り、声が多かったため、保育園は旧園舎の活用を機に、地元との連携を深め、地元の小学校が連携した教育を行う場にとり、寺子屋教室を初めて企画した。

対象は地元の大河内小児童で、1年生から5年生まで21人が受講。大半が旧大野山保育園と調理師のほか、教員OJボランティアで講師を務め、身延山主人が講師をサポートしている。

3日から2日までの期間、児童は午前8時半から午後5時まで、夏休みの宿題を履修に励み、フルで遊ばせて通している。パン作りの調理実習や工作、園内の寺の住職が命の大切さについて講話をしたり、地元のボランティアが指導する、特別授業もある。

4年の西野（華さん）は「久しぶりの保育園が懐かしい。友達と一緒にいろいろな体験ができて楽しかった」といいます。

夏休みの食事は昔、圃間の農家が提供。寺子屋教室のことを知った地元住人が力を届けられたこともあり、地域全体を盛り上げる。沢村和子園長は「生活していく力は、子どもたちの心成長させたい。来年以降も続けたい」と話している。

山梨日日新聞に掲載された記事

防災訓練
(平成28年9月3日)

**大規模地震を想定
園児らが防災訓練**
身延・大野山保育園
身延町大野の大野山保育園
(沢村和子園長)は8月31日、
同園で防災訓練を行った。
園児と保育士、地元住民の
計106人が参加し、大規模
地震が発生したとの想定で実
施。園児は机の下に体を隠し、
保育士と地元住民の誘導で園



庭まで避難した。
その後は峡南消防本部中
部

ユー車の試乗体験もあつた。
沢村園長は「園舎は耐震工

事が施してあり、万が一の時
は地域の避難場所にもなる。
住民との連携も確認できた」と話した。



**園児お点前披露
上手にできたよ**
身延の保育園でお茶会
身延町大野の大野山保育園

(沢村和子園長)はこのほど、
同園でお茶会を開いた。
日本の伝統文化を体験して
もらおうと毎月1回、外部講
師を呼んで茶道教室を開いて
いる。保護者を招き、
1年間の稽古の成果を
発表。年長組の園児18
人があいさつや畳の歩
き方などの所作を披露
し、抹茶をたてて茶菓
子と一緒に振る舞った
写真。

佐野かのこちゃん
(6)は「緊張したけ
ど上手にできた。喜
んでもらえてうれし
かった」と話してい
た。

お茶会でお点前披露 (平成29年3月14日)



**みそ造りに
園児が挑戦**
身延
身延町大野の大野山保育園

の園児はこのほど、同町相又
の旧豊岡小の校舎で、みそ造
りに取り組んだ。

あけぼの大豆の生産や商品
開発などを行う農業
生産法人「レクラミ
のぶ」の遠藤好一社
長が講師を務め、園
児18人が参加。子ど
もたちは事前に煮た
大豆を塩やこうじと
混ぜたり、丸めたり
して仕込んだ。約10
カ月かけて醸造す
る。

大豆に塩とこうじを
混ぜる園児
身延町相又

みそ造りに挑戦
(平成30年2月)

(第三種郵便物認可)

大野山を園児の遊び場に

峡南

小林 諒一
遠西 義治
(0556)22-5431,5432
FAX 22-1797

身延町大野の大野山保育園(沢村和子園長)園児との交流活動に取り組む「大野クラブ」は、保育園裏にある大野山の整備活動をしている。メンバーは「子どもがはしゃぐ

身延 高齢者ら森林整備



大野山を整備するメンバー

—身延町大野

声を聞くことが減った。自然に親しみながら遊べる場所をつくってほしい」と話している。

クラブは2012年に発足。メンバーは14人で60〜70代の高齢者が大半を占めている。園児に絵本を読み聞かせる活動のほか、プランターを使った園芸教室の講師などを務めている。

大野山は中腹から丁度身延駅周辺が一望でき、麓には樹齢約300年のシダレザクラ

がある。園児が自然とふれあう場をつくらうと、2017年から整備。園児が抜けるように山道の雑草や木の枝を取り除いている。昨年から町森林組合の協力を得て本格的な森林整備をしている。

9月24日には、クラブや町森林組合メンバーら6人が出向いて作業をした。保育園が保護者やクラブメンバーらをねぎらうために11月に開く「感謝祭」では、山を園児が保護者と登る企画もある。

クラブに所属する望月信喜さん(67)は「園児たちが山に登りながら自然を楽しんでいる様子を見るのが本当にうれしい。子どもたちから元気をもらい、これからは整備を続けていきたい」と話している。

大野クラブによる森林整備 (令和元年10月17日)

地元住民ら招待し 遊びや昼食楽しむ

身延・大野山保育園

身延町大野の大野山保育園は9日、園児との交流活動に取り組む地元住民や保護者らに日ごろの感謝を伝えよ



うと、園で「感謝祭」を開いた。

園児は保護者と保育園裏にある大野山に登ったほか、南部町産のヒノキを使ったペンダントづくりや磁石を使ったおもちゃの釣りなどを楽しんだ。園児が畑で育てた枝豆やサツマイモなどを食材にした昼食が振る舞われた。

年中組の内藤舞介ちゃん「あつという間に山登り



大野山の登りを楽しむ園児ら
身延町大野

地元住民を招待して「感謝祭」 (令和元年11月13日)

ができて楽しかったと笑顔。母親の明奈さん(32)は「すいと山に登っていく息子を見て、子どもの成長を感じた」と話していた。

●大野山保育園の保育方針を活かした学びから

遊 び か ら 学 び へ

遊びの時間と環境を確保する中で、子どもたちが試行錯誤しながら、自分たちが生み出した自発的な「あそび」を通して想像力や探求心を養い、また一緒に遊ぶお友達への思いやりなどの気づき、新たな発見や考える力を見守っています。

0・1・2歳児



まさに愛着心が育っています



「自己認知」への一步 鏡への興味、関心



あじさいの花の水あそび きれい！いいにおい！



手先を使って挑戦！



ほくもわたしもおんぶして！



砂場あそび ほくたちにまかせて！

3歳以上児



共同製作の分担作業 意欲的です



じゃぼん玉で絵を描くよ！



毎日マラソン お姉ちゃんについてきな！



「こうするといいよ」やさしく教える年長さん



切れるかな？大丈夫切れるよ！！



ガンバレ！松葉相撲に夢中

食・農育から学びへ

もち米の田植えから収穫そして餅つき、麦や野菜、地域の特産品の「あけぼの大豆」など地域の方々のご協力のもと、栽培・収穫そして調理をすることによって、食物の観察、自分たちで育てた作物の愛おしさや食べ物を大切にする気持ちを学んでいます。



お田植えはほくたちにまかせて！



麦踏み 遅く育ちますように



さつまいもの苗さし



おざら作り 両手を上手に使います



稲刈り よく頑張りました



スイートポテト 今年は特別な作り方だよ



こねてたいてパン作り



パン作り 焼きあがったら形が違うよ!



クリスマスクッキー 年長が年少に教えます



おかずパン ワーふくらんだ! 早く食べたいね



枝豆の収穫 力を合わせてよいしょ!



かぼちゃの収穫
たくさんとれたよ!

自然から学びへ

ボランティアの方々に整備していただいた園舎の裏山は自然とのふれあいの中、子どもたちが生まれ育った「みのぶ」の誇りを持てる大切な場所です。

また近隣の渓谷などでは、四季の移り変わりを肌で感じ、丈夫で健康な身体と健全な心を育てる取り組みを行っています。



高い所まで登ったよ！（大柳川渓谷）



ワクワクドキドキ！（大柳川渓谷）



さあ、つかまえるぞ！（芦川渓谷）



ヤマメつかまえたよ！（芦川グリーンロッジ）



大野の土手で芝すべり



河原で石の橋づくり



大きな丸太を前に「何を作ろうか？」（裏山）



コアラの気分で満喫（裏山）



一本のロープで遊びを共有（裏山）



自然のすべり台（裏山）



杉の木の伐採見学（裏山）



秘密基地を作ろう（裏山）

職員・保育園受賞歴

職員受賞歴

(昭和62年2月～令和3年2月)

受賞年月	表彰内容	氏名
昭和62年 2月	山梨県知事表彰	小林 八重子
平成2年 2月	山梨県知事表彰	望月 延江 (保育士)
平成5年 5月	勲五等瑞宝賞	沢村 清一
平成9年 5月	勲六等瑞宝賞	片田 さく江
平成14年 2月	山梨県知事表彰	若林 利恵
平成14年 10月	日本保育協会会長賞	望月 延江 (調理員)
平成15年 10月	全国保育協議会会長表彰	沢村 清史
平成17年 10月	山梨県知事表彰	沢村 和子
平成19年 9月	厚生労働大臣表彰	沢村 和子
平成20年 10月	日本保育協会会長賞	堀内 美智代
平成22年 2月	山梨県知事表彰	堀内 美智代
平成22年 2月	山梨県保育協議会会長表彰	田中 聖子
平成23年 10月	山梨県社会福祉協議会会長表彰	遠藤 博美
平成23年 10月	山梨県社会福祉協議会会長表彰	田中 理恵子
平成23年 10月	山梨県社会福祉協議会会長表彰	伊藤 晴美
平成23年 10月	身延町社会福祉協議会会長表彰	近藤 ますみ
平成25年 10月	日本保育協議会会長表彰	沢村 和子
平成26年 10月	身延町社会福祉協議会会長表彰	木内 朋美
平成27年 10月	全国社会福祉協議会会長表彰	田中 聖子
平成28年 10月	全国保育協議会会長表彰	沢村 和子
平成28年 10月	身延町社会福祉協議会会長表彰	千須和 美穂
平成30年 2月	山梨知事表彰	田中 聖子
平成30年 10月	日本保育協議会会長表彰	遠藤 博美
平成30年 10月	日本保育協議会会長表彰	田中 理恵子
平成30年 10月	日本保育協議会会長表彰	伊藤 晴美
平成30年 10月	全国保育協議会会長表彰	堀内 美智代
平成30年 11月	山梨県社会福祉協議会会長表彰	木内 朋美
令和2年 11月	身延町社会福祉協議会会長表彰	芦川 杏奈
令和3年 2月	山梨県保育協議会会長表彰	木内 朋美



創立者沢村清一が平成5年 勲五等瑞宝章を受章



沢村清一、沢村清史、沢村和子三代に亘って
全国保育協議会会長賞を受賞

■大野山保育園受賞歴

(平成29年9月～令和2年10月)

受賞年月	表彰内容	受賞内容
平成29年9月12日	山梨県知事表彰	食の安全・食育推進園として受賞
令和元年11月30日	山梨県知事表彰	栄養管理・衛生管理面で優良施設として受賞
令和2年1月25日	山梨県知事表彰	自然体験活動が評価され受賞
令和2年10月17日	山梨県知事表彰	緑化推進活動として受賞

■冊子で紹介されました



・公益財団法人
児童育成協会発行「こどもの栄養」に
沢村和子園長（当時）が一年間を通して
『食育歳時記』を執筆、連載されました。



令和2年度 職員からのメッセージ



～私の選んだ「保育の仕事」～

主任保育士 堀内 美智代

窓を開けると心地よい風が園舎の中を通り抜け、クラシックの曲が流れる中「おはようございます！」と子どもたちの元気な声が響き、保育園の1日が始まります。職員は、「今日も元気に来てくれたね、ありがとう。」と気持ちを込めて、子どもたちを笑顔で迎えます。そんな穏やかな環境の中で40年間働かせて頂いていることに感謝しております。

昭和、平成と時代は流れ、大野山保育園は創立70周年を迎えます。初代の清一理事長先生の思いを清史理事長先生が受け継ぎ、その思いを和子園長先生に託してきました。「食の大切さ」を保育の中に取り入れ、食と遊びが充実してきました。それから、『令和』に年号が変わり、保育も改革の時期となりました。

令和2年、認定こども園大野山保育園となり、園長も高山有先生にバトンタッチされました。職員数も増え、主任として更に身を引き締めていかなければという思いでした。

私たち保育士は、園の保育方針の『食とあそびを通して生きる力を育てる』を基に、子どもたちが発する驚き・感動・喜びに共感し、「やってみたい」という探究心を大事にし、子ども一人ひとりを認める保育をしていきます。そして、保護者に寄り添い、温かくぬくもりのある園づくりに心がけます。謙虚な気持ちを忘れずに、さらに「保育の仕事」に専念し、地域貢献に努めてまいります。保育者として専門性を発揮し、「常に子どもが中心にいる保育」を職員一丸となって取り組んでいきます。



子育て支援センターに携わって思うこと


子育て支援センター長 田中 聖子

平成30年4月に、大野山保育園の中に子育て支援センターが開設され、和子園長、高山副園長に支えていただきながら、センター職員として活動させていただくことになりました。今年で3年目になりますが、親子で自然と関り様々な遊びを体験できるようにお手伝いしたり、利用して下さる皆さんが子育ての楽しさや親子で過ごす大切さを感じてもらえるように、保坂みつ江先生と一緒に話し合いながらやっています。

亡くなった先代の沢村清一理事長先生の教えである、「児童は家の宝なり」「子どもは大切な社会の柱である」いつもこのことを忘れず、保育していきたいと思っています。

少子化が進んでいる現在、支援センターの活動はなくてはならない大切な事業です。子育て中の親が悩んだり不安になったりした時に、少しでもお役に立てるように今後も気を引き締めて努めていきたいと思っています。

MESSAGE

ひよこ・
もも1組

保育教諭 旗持 真実



大野山保育園で働かせて頂き、子どもたちの成長を毎日感じながら過ごせることを嬉しく思います。かわいい子どもたちと一緒に、私もさらに成長していきたいと思っています。

養護教諭 市川 明美



心機一転、今年から保育の仕事をしていただき、子どもたちの弾けるパワーと先生方との出会いに感謝しています。日々成長する子どもたちと一緒に頑張ります。

保育教諭 名取 朋子



大野山保育園70年の歴史の一部に関わることができました。初めての0・1・2歳児の保育。大きくなろう、成長しようというエネルギーを受け取り、子どもたちの様々な貴重な瞬間に立ち会える幸せを感じています。

保育士 千須和 美穂



私の夫も大野山保育園を卒園して、私自身も縁があり勤務させていただき、感謝しております。大野山保育園の70周年という深い歴史を大切にしながら子どもたちと共に成長していければと思います。

保育士 松野 秀美



長いブランクからの仕事復帰。不安を感じながら仕事をさせて頂くことになってから今日まで大野山保育園の一員として保育に携われた事に感謝しています。また子どもたちとのふれあいが私の元気の源です。

養護教諭 片田 朱美



45年前に園児として、20年前には保護者として、現在は子どもたちの笑顔あふれる中で勤務させていただき、感動と同時に感謝しております。70年の歴史とこれからの子どもたちの一瞬一瞬を大切にします。

MESSAGE

もも2組



保育教諭 日吉 優子



幼いころお世話になった保育園、先生方に3人の子どもたちの成長を見守っていただきました。伝統ある大野山保育園に、夢であった保育士としてもお世話になることができ、感謝の気持ちをお返しできたらと思っています。

保育教諭 渡邊 朱音



5年間お世話になった大野山保育園への就職が叶い、とても嬉しく思っています。いつでも子どもたち目線で物事を考え、子どもたちに寄り添える保育士を目指し頑張ります。

保育教諭 穂坂 寛子



私の夫と長男長女は幼少期に大野山保育園にお世話になりました。そして、私も現在保育士として勤めています。子どもたちの笑顔がいっぱいの素敵な保育園で、これからもお手伝いできることを嬉しく思います。

きりん



保育教諭
芦川 杏奈

大野山保育園でたくさんの子どもたちと出会い、共に学んできました。一緒に過ごした時間は、私にとってかけがえのないものです。これからも子どもたちと様々なことを経験し、歩んでいきたいと思っています。



保育士
伊藤 晴美

「ありがとうございます」と思う感謝の気持ち、「おかげさまで」と思う謙虚な心、大野山保育園にて働かせて頂き、導いていただいたこの礎が、これからも私の志であります。



保育教諭
片田 育子

大野山保育園の70周年節目の時に、私もその中の一員として、保育に携わることができとてもうれしく思っています。これからも子どもたちと共に成長し、学べる日々感謝し過ぎていきたいと思っています。



教諭
市川 司

コロナウイルスのため日常生活が変化しています。今後、保育園にも新しい生活・教育・指導方法が求められるのではないのでしょうか。なかなか難しいですが、今後も園児と共に成長していきたいと思っています。



保育士 松木 直子

前理事長及び現理事長とのご縁によりまして、職員の一員として手伝いができました事に感謝いたしております。子どもを通して、保護者の皆様や地域の方々との交流もできまして、私自身が楽しく仕事できたことも感謝いたします。明るく楽しい保育園としてますますのご発展をお祈り申し上げます。

保育教諭 小林 美絵

子どもたちの輝くひとみ・輝く笑顔に触れ、貴重な時間を過ごせる喜びを感じながら保育させていただいております。目いっぱい愛情を注ぎ、安心できる存在でいたいと思います。



こあら



保育教諭 佐野 晴美

保育を離れていましたが、数年ぶりに大野山保育園に戻り、子どもたちと楽しく過ごさせて頂いています。このご縁を大切にしながら子どもたちのパワーに負けず、楽しんでいきたいと思っています。



保育教諭 高山 由衣

私が大野山保育園と出会ったのは、高校生の時インターンシップでお世話になりました。その時から「食と遊び」が中心の園だと知っていて、魅力のある園だと思いました。その園で働けるので、しっかりと貢献したいです。



保育士 木内 朋美

旧園舎や現在の園舎ができるまでの仮園舎での生活、合併してからの新しい大野山保育園での日々。ここでのたくさんの出会いと様々な経験に感謝し、これから子どもたちと過ごす一日一日を大切にしていきたいと思っています。



ぱんだ



保育教諭 太田 もも

70年の歴史があり、自然に囲まれたこの大野山保育園で、元気いっぱい子どもたちと毎日過ごすことができ、とてもうれしく思います。子ども主体の保育に携わり、子どもたちと一緒に日々向上していきたいです。



保育教諭 田中 理恵子

還暦を過ぎ、数年経った今も勤務させていただいていることに、大変感謝しています。また親子二代に渡り保育の仕事に携わることは、幸せなことだと思っています。これからも健康に気をつけ子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思っています。



保育教諭 鴨狩 早紀

70年も歴史のある大野山保育園に務めさせて頂いていることは、とても貴重なことだと思います。食と遊びを通し、これからも子ども達と共に成長できる保育士であり続けたいと思います。



MESSAGE

支援センター ぬくぬく



子育て支援員 穂坂 みつ江

大野山保育園は我が家にとって、65年前に主人が、そして3人の子どもたちがお世話になり、今は縁あって私が働かせていただいています。長いご縁にありがとうございます。とても感謝しています。



調理室

栄養士 藤巻 和朗

大野山保育園で働き始めて早1年、栄養士がこんな目立つ保育園は他にないので子どもたちと関わることを日々楽しみながら給食を作っています。70周年の記念すべき時に立ち会え光栄に思います。これからも子どもたちの「食」に影響力のある栄養士でありたいと思っています。



調理師 河井 清美

「おいしかったよ!」と元気に声をかけてくれる子どもたち、残食の少なさは他の園の方にも見て頂きたいと思うほどです。本当に感心します。広くて使いやすい調理室、この様な恵まれた環境の中で毎日仕事ができる事の幸せを感じています。



調理員 市川 美保子

私は子どもたちとふれ合うのが大好きです。調理員として保育園に勤めさせていただき、大変感謝しております。子どもたちの「おいしい!」の一言が聞けるように頑張っていきたいと思っています。



用務員

用務員 吉野 賢造

長年保育園バスの運転手として園児の送迎をしてきました。たくさんのパワーと笑顔をもらいました。無事故無違反で職務を全うできたことが何よりです。現在は用務員として勤めさせていただいています。



令和3年度 職員名簿

職 名	氏 名	備 考
園 長	高 山 有	
副 園 長	高 沢 村 和 子	理事長
事 務	高 沢 村 清 史	前理事長
事 務	高 山 紗 綾	令和3年度新入職員
主 任	高 田 中 聖 子	
保育教諭	芦 川 杏 奈	
保育教諭	芦 簾 持 真 実	
保育教諭	鴨 狩 早 紀	
保育教諭	片 田 育 子	
保育教諭	渡 邊 朱 音	
保育教諭	太 田 も も	
保育教諭	高 山 由 衣	
保育教諭	佐 野 晴 美	
保育教諭	佐 野 早 香	令和3年度新入職員
保育教諭	大 村 步 加	令和3年度新入職員
保育教諭	池 原 里 穂	令和3年度新入職員
保育教諭	日 吉 優 子	
保 育 士	木 内 朋 美	
保 育 士	伊 藤 晴 美	
養護教諭	市 川 明 美	
保育教諭	名 取 朋 子	
保育教諭	穂 坂 寛 子	
保育教諭	小 林 美 絵	
保 育 士	小 林 あゆみ	令和3年度新入職員
保育補助	市 川 司	
保育補助	片 田 朱 美	
センター長及び主任補佐	堀 内 美智代	
支援センター職員	穂 坂 みつ江	
支援センター職員	田 中 理恵子	
栄 養 士	藤 卷 和 朗	
調 理 師	河 井 清 美	
調 理 員	市 川 美保子	
用 務 員	吉 野 賢 造	

●大野山保育園の活動に関わって頂いている、ボランティアのメンバーをご紹介します

(順不同・敬称略)

望月 信善・片田 順子・早川 重子・穂坂 和子・穂坂 町子・望月 利子・望月 邦子

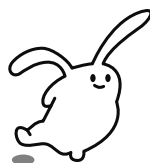
三塚 多恵子・桑名 千紘・市川 司・吉野 賢造

園芸クラブ、農業クラブ、絵本読みクラブ、手芸クラブ等に属しご協力いただいています。

大野山保育園 園歌

作詞 沢村和子
作曲 市川和子

- 一 皆さんおはようこんにちは
明るい笑顔でご挨拶
お庭のすみまでひびきます
ぼくらの大野山保育園
- 二 友達たくさん集まって
元気いっぱい遊びます
お手伝いするのも大好きな
楽しい大野山保育園
- 三 みんな親切うれしいな
やさしい心をありがとう
夢としあわせ呼んでいる
すてきな大野山保育園



空(夢)に向かって飛んでゆく
大野山保育園のキャラクターのクーちゃん

保育理念

一人ひとりの子どもを大切に生きる力を育てる。

保育目標

- ・豊かな人間性（思いやり、情緒、自信、好奇心、探求心等）
- ・自発的な思考力、判断力、表現力
- ・健康な心と体（基本的生活習慣、自立心、規則性等）

保育方針

- “四季折々を肌で感じる自然環境のもと
食と遊びを通して、生きる力の根っこを育てる！”
- ・遊びや生活の中で環境を通して、子どもの「やってみたい」を大切に
実現できるよう目を離さず・耳を傾け・見守り適切な支援を行う。
 - ・人や物に自ら関わり、失敗や成功を繰り返し試行錯誤する過程を大事に
援助する。

あとがき

園長 高山 有

創立70周年の節目の年を迎え、ここに記念誌を発刊できますこと大変嬉しく思っております。記念誌作成にあたり、身延町長様をはじめ、行政の皆様方、そして保育園に関わる方々から原稿及び貴重な資料をご提供頂き、皆様に心から感謝いたします。

多くの資料には、私自身が見たことのない保育の様子や地域の風景など、先代をはじめとする多くの先生方の積み重ねた歴史が刻まれています。原稿の文面にはその当時の様子が目に浮かんでくるような力を感じました。

時代や教育、方法が変わっても、変わってはいけないものがあります。「児童は家の宝なり」この理念のとおり、子どもはいつの時代も変わらずに無条件に愛され、大切にされる存在でなくてはならないと思っています。

身延町にある保育園として、地域の子どもを大切に保護者の皆様と一緒に見守り、育み、本気の子育て支援に邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に有限会社クリップの河野誠様、素晴らしい記念誌を編集、完成していただき心から感謝いたします。



令和3年度 職員・園児全員集合



社会福祉法人 清和福祉会
認定こども園 **大野山保育園**

創立70周年記念誌 めくもり

- 発行 令和3年5月5日
- 発行人 社会福祉法人 清和福祉会
認定こども園 **大野山保育園**
〒409-2532
山梨県南巨摩郡身延町大野839-3
TEL 0556-62-2541
FAX 0556-62-0490
URL <https://oonosan.com>
- 印刷 有限会社 クリップ